

2018年1月15日

## 急性心筋梗塞を対象疾患とした Muse 細胞製品の探索的臨床試験開始について

株式会社生命科学インスティテュート

株式会社生命科学インスティテュート(本社:東京都千代田区、社長:木曾 誠一、以下「当社」)は、Muse 細胞を用いた再生医療製品の研究開発を進めて参りましたが、このたび、急性心筋梗塞を対象疾患として、Muse 細胞製品「CL2020」の探索的臨床試験を岐阜大学医学部附属病院他の施設にて開始することとなりましたのでお知らせいたします。

Muse 細胞 (Multilineage-differentiating Stress Enduring cell) は、2010 年に東北大学の出澤 真理教授らのグループにより発見された、ヒトの多様な細胞に分化する能力を有する新たなタイプの多能性幹細胞です。もともと生体内の間葉系組織内に存在する自然の幹細胞であり、腫瘍化の懸念が少ないことに加え、目的とする細胞に分化誘導する必要がなく、そのまま静脈内に投与するだけで傷害部位に集積し、そこに生着して組織を修復するという特長を有しています。

これまで実施した心筋梗塞モデルを用いた動物試験では、CL2020 の静脈内投与により、心機能改善効果を発揮することが確認されています。

急性心筋梗塞を含む心疾患は日本人の死因の第二位であり、急性心筋梗塞はその約 20%を占めるといわれています。特に心機能低下を呈する心筋梗塞では、標準治療にもかかわらず心血管事故(心臓死・再梗塞・心不全)の発生率が顕著に増加することが報告されています。そこで、傷害を受けた心臓組織自体を修復し、心機能を改善する可能性のある CL2020 は、心筋梗塞治療の新たな選択肢になると考えています。

### 【探索的臨床試験の概要】

対象疾患 : 急性心筋梗塞

目的 : 急性心筋梗塞患者を対象に、CL2020 を単回投与した際の安全性、忍容性(不具合が発生した場合でも許容できる範囲であるか)及び有効性について検討する。

今後も、当社は Muse 細胞をはじめとして次世代に向けたヘルスケア事業を展開し、さまざまなリソースを活用して KAITEKI 社会の実現へ向けて事業展開してまいります。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社生命科学インスティテュート 総務・法務部 広報担当 TEL 03-6896-8743

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 TEL 03-6748-7140